

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0302	政策名	学校教育の充実	施策主管課	学校教育課	課長名	及川 仁
------	------	-----	---------	-------	-------	-----	------

政策の目指す姿 夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています

施策No	01	施策名	学力・体力の向上	関係課名	学務管理課
------	----	-----	----------	------	-------

施策の目指す姿 児童生徒の学力・体力が向上しています

現状と課題

【現状】  
 ・学力については、小学校児童は県の水準と同程度となっていますが、中学校生徒はやや下回っている状況にあります。  
 ・体力・運動能力については、中学校生徒は県や全国の水準を上回っていますが、小学校児童は、やや下回っている状況にあります。  
 ・食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が微増傾向にあります。

【課題】  
 ・児童生徒の学力の向上を目指すために、学校の取組を支援する必要があります。  
 ・児童生徒の体力・運動能力の向上を図るため、指導の充実を図る必要があります。  
 ・児童生徒の健やかな成長のため、健康診断の結果を踏まえた食生活や生活習慣の改善を図る必要があります。

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

・学力向上に向けた校内の組織的な取組を一層推進するため、従来行ってきた指導主事や学力向上支援員による訪問指導の回数を増やしていくとともに、取組の中心となる主任層を対象とした研修会を実施し、授業改善や家庭学習の充実を図る。  
 ・小学校3校を体力向上実践推進事業の実践校として指定し、当該実践校における体育の授業改善や運動の習慣化を促す取組等を各校に広め、児童の体力の改善を図る。  
 ・ICT支援員によるタブレット端末を活用した授業支援や研修会を継続するとともに、各種ソフトやデジタル教科書等の効果的な活用方法を各校に広め、ICT教育に係る教職員の指導力向上を図る。

反映状況

・学力向上に向けた学校の取組を支援するため、指導主事や学力向上支援員による意図的・計画的な訪問指導の実施のほか、研究主任を対象とした研修会や指導に課題を抱えた教職員対象の個別訪問指導、児童生徒・保護者対象の学力向上講話（R3 15回、R4 21回）等を実施した。  
 ・湯口小、八幡小、八重畑小を体力向上実践推進事業実践校として指定し、各校の取組を支援するとともに、成果を校長会議等で紹介した。  
 ・ICT支援員2名が全小中学校を巡回訪問し、タブレット端末を活用した授業の支援や活用方法等に関する相談対応等を行うとともに、オンライン研修を実施し、効果的な活用方法を紹介した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- (1) 学力の向上
  - 「学力向上アクションプラン」の推進
  - ・校内研究会への指導主事派遣による授業改善
  - 学力調査等の結果を分析し、各校の学力向上の取組を支援
  - ・各校の学力向上の取り組みを支援する「学力向上支援員」を配置
  - はなまき授業サポーター・中学サポーターによる少人数指導の充実
  - ・30人を超える学級を有する小学校に「はなまき授業サポーター」、中学校に「中学サポーター」を配置
  - 新学習指導要領を踏まえた研修会等の実施による教員の授業力向上
  - ・指導主事や外部講師等による講義等の実施
- (2) 健やかな体の育成
  - 児童生徒への体育指導の充実
  - ・教員研修会の実施による授業や取組の改善
  - 体力向上のための特色ある実践的な学校の取組の推進
  - ・実践校（3校）を指定し、基礎体力向上のための取り組みを支援
  - 小学校体育連盟及び中学校体育連盟事業に対する支援
  - ・各体育連盟事業補助金および県中総体開催補助金を交付
  - 児童生徒に対する検診の実施や学校保健活動の充実
  - ・健康診断、生活習慣病予防検診等の実施
  - 学校給食を通じた食育指導の充実
  - ・栄養教諭を中心とした食に関する指導の実施

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
小学生の教科学習における基礎基本の定着度（県平均を100とした場合の対比）	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況の評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	小5（国、算、社、理）の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	%	目標値	105.00	100.20	100.20	100.20	100.20	
				実績値	99.30		100.00	97.90		
中学生の教科学習における基礎基本の定着度（県平均を100とした場合の対比）	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況の評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	中2（国、数、英、理、社）の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	%	目標値	104.00	98.00	99.00	99.50	100.00	
				実績値	99.30	100.00	100.00	98.10		
児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均を上回る項目割合	体力・運動能力調査は、児童生徒の実態を把握し指導の在り方を検討するため毎年実施しており、児童生徒の体力・運動能力を測る指標として適当である。	握力、上体起こし、体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ 小中学校全学年を対象に全国平均を上回る項目の割合を測る	%	目標値	54.20	43.00	44.00	45.00	46.00	
				実績値	27.10	46.90	45.80	34.40		

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■教科学習における基礎基本の定着度【達成度 小学校b 中学校b】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上アクションプランに基づき、授業力向上に向けた指導主事・学力向上支援員による訪問指導等を実施したが、定着度は小中学校とも県平均をやや下回る結果となっている。</li> <li>・学級が落ち着いた学習環境の影響や長時間のスマホ・ゲームの使用等に伴う家庭学習時間の不足等により、小学生の学力が低下傾向にある。</li> </ul> <p>(小学校：目標値100.2 実績値97.9 中学校：目標値99.5 実績値98.1)</p> <p>■児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均を上回る項目割合【達成度 小学校c 中学校c】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中、各校においては、感染症対策を講じながら基礎的な体力向上を目指す取組を実施したが、全国平均を上回る項目が減少した。</li> <li>・特に小学校で体力の低下傾向が見られるが、要因として運動時間の減少、肥満傾向の増加、スクリーンタイムの増加等が考えられる。</li> </ul> <p>(小学校：目標値45.0 実績値34.4 中学校：目標値68.8 実績値39.6)</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
(まなび交流学習事業) 笹間第一小学校と笹間第二小学校の統合に伴い、本事業は廃止する。
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
(学力向上推進事業) 本市の重要課題の一つである学力向上について、学級・学年経営の充実、学習者主体の授業改善、家庭学習の充実を図る必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
・児童生徒の学習活動の一層の充実のため、ICT支援員による訪問指導等を強化し、教員のICTを活用して指導する能力の向上を図る。

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校における学力向上は継続した課題であり、落ち着いた学級を抱える学校は県平均を大幅に下回る状況も見られることから、各小・中学校の学年・学級経営の改善に向けた取組を支援する必要がある。</li> <li>・体力向上に向けての取組については、小・中学校ともに基礎体力の向上を推進する工夫が必要である。特に小学校においては、家庭と連携しながら望ましい食習慣や規則正しい生活習慣、運動習慣の形成に向けた取組が必要である。</li> <li>・ICT支援員の増員を含め、各校を支援する体制を強化し、教員のタブレット端末等を効果的に活用して指導する能力の向上を図る必要がある。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向けた学校の組織的な取組を一層推進するため、各小・中学校の授業や学級経営の課題を早期に把握するとともに、指導主事や学力向上支援員による訪問指導の充実を図る。</li> <li>・体力向上実践推進事業の実践校として小学校3校を継続(2年目)指定し、当該実践校における体育の授業改善や望ましい運動習慣・生活習慣の形成に向けた取組等の更なる充実を図り、児童の体力向上を図る。</li> <li>・ICT支援員による訪問指導やオンライン研修を増やし、タブレット端末等の効果的な活用方法を各校に広め、ICT教育に係る教職員の指導力向上を図る。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
事業内容(活動実績)			直結度		
010	学力向上推進事業費	学校教育	間接・少数	直結	B
	学力向上支援員(1)、はなまき授業サポーター(8)、中学サポーター(4)及びICT支援員(2)の配置、教材「Gアップシート」の作成配付、到達度学力検査・知能検査の実施、漢字能力検定料の全額助成(小学校5、6年生対象)				
020	まなび交流学習事業費	学校教育	一致	間接・補完	C
	小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援(笹間地区6回)				
030	体力向上実践推進事業費	学校教育	一致	間接・補完	B
	実践校(小学校3校)を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援				
040	小学校外国語教育推進事業費	学校教育	一致	直結	-
	各小学校に外国語指導助手(ALT)を派遣(17校、小学校3～6年生の外国語活動及び外国語の授業に派遣)				
050	中学校外国語教育推進事業費	学校教育	一致	直結	-
	各中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣(11校)、英語検定料助成(中学生が受検する英語検定の受検手数料を生徒1人当たり年間1回まで市教育委員会が負担)				
060	学校保健事業費	学務管理	一致	間接・補完	A
	児童生徒や教職員の健康保持のための学校医の確保や各種検診の実施、生活習慣病予防検診受診者数(小学校4年生592人、異常なし83.45%)(中学校1年生601人、異常なし83.86%)				
070	小中学校スポーツ振興事業費	学校教育	一致	間接・補完	-
	花巻市内小・中学校体育連盟の活動を支援(補助金交付件数1件)				
080	修学旅行キャンセル料支援事業費(中学校)	学校教育	一致	直結	-
	修学旅行の延期又は行き先を変更したことにより発生したキャンセル料に係る経済的な負担軽減(補助金交付9校)				